

～災害派遣福祉チームが活動を始めました！～

平成27年地域政策研究センター(地域提案型・後期) 採択課題

課題名：災害派遣福祉チームの設置および活動に関する研究

研究代表者：社会福祉学部 教授 狩野徹

課題提案者：岩手県保健福祉部地域福祉課 藤原寿之

研究メンバー：齋藤昭彦(社会福祉学部)、古内保之(岩手県社会福祉協議会)

技術キーワード：災害派遣福祉チーム、災害福祉の専門職養成

▼研究の概要(背景・目標)

岩手県においては災害派遣福祉チームを平成25年度に設立し、これまで、災害派遣福祉チームについては、図上訓練や岩手県総合防災訓練への参加など、実践を想定した研修や訓練も行ってきた。

本年度は円滑な派遣活動のための活動内容等について更に詳細な検討を行った。



写真1 スクリーニングの状況

▼研究の内容(方法・経過)

1. 災害派遣福祉チームの活動マニュアルおよび活動実践マニュアルのレベルアップを行った。
2. 広域的な災害派遣福祉チーム員のための研修内容の検討および提案を行った。
3. 研究期間中に災害が発生し、実際に派遣する事になった。その実践を整理し、課題をまとめた。



写真2 保育士チームの活動

▼研究の成果(結論・考察)

1. 熊本地震および岩泉台風被害において実際に福祉チームを派遣することができた。
2. チームの役割としてのスクリーニング、避難所での多様な福祉ニーズに対応ができるようになった。
3. マニュアル通りには行かないことも多くあり、内容を整理し検討する必要があることも明らかになった。



写真3 定時のラジオ体操や、介護予防体操を実施した

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 実際の災害派遣が2回あり、より具体的な課題が見えてきた。災害時の被災地は混乱していること、多様な専門職が支援に入ること、福祉的ニーズがあることなどが改めて明らかになった。
2. また災害の種類も広域的な災害、局所的な災害、地震、火災、水害など多様であることも実感した。
3. 災害派遣福祉チームの立ち上げについて国全体の動きも再開されていて、岩手県の災害派遣福祉チームの派遣経験は他県の参考になるものと思われる。まずは東北6県のチーム員の共同化などを進めていく。